

【成長戦略研究】

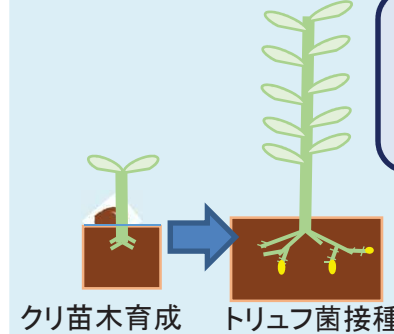
トリュフ栽培に適した森林環境に関する研究 (R3~R5)

森林総合研究所

背景・目的

- 森林総研では、国との共同研究により、クリの苗木にトリュフ菌を感染させることに成功している。
- 今後、トリュフを人工栽培するためには、林地において、トリュフ菌感染苗の菌根を発達させる技術の確立が必要である。
- このため、トリュフ菌根の発達に適した森林環境等の条件を明らかにした上で、栽培マニュアルを作成する。

これまでに確立した技術
トリュフ菌をクリの木に感染



未確立の技術

養成した感染苗を林地に植栽し、トリュフ菌根を発達させる。



研究内容

1. トリュフ菌感染苗を菌根の発達が見込まれる林地を選定し植栽
2. 植栽した林地の照度や雨量等の生育環境調査
3. トリュフ菌根の発達状況を調査し、適した森林環境を把握
4. 栽培マニュアルの作成

研究スケジュール

項目 \ 年	R3	R4	R5
1 感染苗を林地に植栽	←→	←→	
2 植栽地の生育環境調査	←→		
3 菌根の発達状況調査	←→		
4 栽培マニュアル作成			←→

期待される効果

- 新たな県産ブランドの商品となり、林家の収入増となる。
- これまで、日本では人工栽培によりトリュフを生産した事例はなく、先進性がある。

